

平成19年度生涯学習・研修支援事業報告

著者	深澤 佳代子, 山本 淳子, 山田 正実, 櫻井 信人, 野口 裕子
雑誌名	看護研究交流センター年報
巻	19
ページ	19-22
発行年	2008-10-31
その他のタイトル	平成19年度生涯学習・研修支援事業報告 Report of Extension Courses and Continuing Education Programs by Niigata Research Institute of Nursing in 2006
URL	http://hdl.handle.net/10631/422

平成 19 年度生涯学習・研修支援事業報告

深澤佳代子¹⁾, 山本淳子²⁾, 山田正実¹⁾, 櫻井信人³⁾, 野口裕子³⁾

1) 新潟県立看護大学臨床看護学領域, 2) 同人間環境科学領域, 3) 同地域生活看護学領域

A Report of Extension Courses and Continuing Education Programs

by Niigata Research Institute of Nursing in 2006

Kayoko Fukasawa¹⁾, Junko Yamamoto²⁾, Masami Yamada¹⁾

Michito Sakurai³⁾, Yuko Noguchi³⁾

1) Niigata College of Nursing (Clinical Practical Nursing Area)

2) Niigata College of Nursing (Human & Environment Area)

3) Niigata College of Nursing (Community Living & Nursing Area)

I. 平成 19 年度公開講座のテーマ・日時・受講者数

	講座名	開催日	受講数
一般公開講座	特別講演： 看護政策と大学教育の将来 講師：久常節子	7月14日(土)	153名
	大災害と国際医療支援の実際 —チェルノブイリ原発事故時の国際支援活動の経験から— 講師：菅谷昭	10月12日(土)	104名
	エルダリー・スクール(1) 魅惑のスローライフ・エイジング(6講座) 講師：吉山直樹, 中野正春, 村上肇, 斉藤英一, 田口太郎, 粟生田友子	9月8日(土), 9月15日(土) 9月22日(土), 9月29日(土) 10月6日(土), 10月13日(土)	188名 (延べ人数)
	エルダリー・スクール(2) 認知症サポーター100万人キャラバン 「第2回キャラバン・メイト養成講座」(5講座) 講師：中島紀恵子, 北川公子, キャラバン・メイト連絡 協議会, 今井幸充, 安村誠司	10月20日(土), 10月27日(土) 11月17日(土), 12月1日(土) 12月8日(土)	357名 (延べ人数)
専門公開講座	看護英会話セミナー 講師：中村博生, 山本淳子	9月27日(月), 9月28日(火)	4名
	看護情報処理セミナー(1), (2) 講師：橋本明浩, 永吉雅人	9月27日(木), 9月28日(金) 10月4日(木), 10月5日(金)	22名 (延べ人数)
	新潟県看護職員臨地実習指導者養成講習会 専門職への公開授業(2講座) 看護実践能力の充実に向けて 講師：中島紀恵子 新潟県の看護行政の動向 講師：坪川トモ子	8月20日(月)～10月16日(火) 8月20日(月) 10月16日(火)	51名 54名 52名
			延べ受講者数 985名

II. 講座の概要

<一般公開講座>

1. 特別講演

1) 看護政策と大学教育の将来

日時：7月14日(土) 13:30～15:30

講師：日本看護協会会長 久常節子

概要：良い看護を提供しようとしても人数配置や看護システムの改善がなしでは具現化は難しい。また、看護基礎教育と臨床現場の乖離など看護職の熱意と努力では解決できない課題が多い。そのような看護職を取り巻く課題に日本看護協会としてどのように対応しているのか紹介していただいた。

(運営担当：深澤)

2) 大災害と国際医療支援の実際—チェルノブイリ原発事故時の国際支援活動の経験から—

講師：松本市長 菅谷昭

日時：10月12日(土) 13:30～15:30

概要：1986年、旧ソ連ウクライナ・チェルノブイリ原発爆破に伴い多発した甲状腺がんの治療のため、ベラルーシへ医療支援に赴いた自らの経験とともに国際支援活動とは何かを話していただいた。また、個人個人がこれからの国際社会の中でどのような支援を求められるのか学生の希望者とともにディスカッションをしていただいた。

(運営担当：深澤)

2. エルダリー・スクール(1) 魅惑のスローライフ・エイジング(6講座)

概要：新潟工科大学とのジョイント企画4年目の講座である。男女ともに“人生80年”という言葉がほぼ可能となった今日、第一線を退いた後の20年余を健康で明るく健やかに生きることが誰でも願いである。より健康で活力のある毎日を手に入れるためのからだ作り、あたま作り、そして病気予防や介護予防に関する知識と戦略について参加者とともに学ぶことを目的とした。

(運営担当：吉山，山本，山田，櫻井)

1) あなたが主役，五感を生かすスローライフ・スローエイジング

日時：9月8日(土) 13:30～15:30

講師：新潟県立看護大学教授 吉山直樹

2) 膝にいいことをしましょう—変形性膝関節症対策

日時：9月15日(土) 13:30～15:30

講師：新潟県立看護大学教授 中野正春

3) 情報化社会の暮らしかた

日時：9月22日(土) 13:30～15:30

講師：新潟工科大学教授 村上肇

4) 唾液成分と口腔保健のまめ知識

日時：9月29日(土) 13:30～15:30

講師：新潟工科大学教授 斉藤英一

5) 多様な担い手の連携による市民まちづくりの展望

日時：10月6日(土) 13:30～15:30

講師：新潟工科大学准教授 田口太郎

6) 年をとるのはイヤですか？— 若い、病むからだに向き合って生きる人々から学ぶもの

日時：10月13日(土)13:30～15:30

講師：新潟県立看護大学教授 栗生田友子

3. エルダリー・スクール(2) 認知症サポーター100万人キャラバン「第2回キャラバン・メイト養成講座」(5講座)

概要：認知症の人々が尊厳を持って地域で暮らし続けるには、それを支える「地域づくり」に向けて地域の人々、職域や学校、その他団体など幅広く理解者や支援者（認知症サポーター）の和を築くことが重要である。認知症に関する正しい知識や対処の方法を理解し、人々に伝えることを通して認知症サポーターの輪づくりに活躍できるキャラバン・メイトの養成を目指した。

1) 認知症の人を支えるとは、認知症サポーター100万人キャラバンとは、上越市の認知症ケアの取り組み

日時：10月20日(土)13:30～15:30

講師：新潟県立看護大学学長 中島紀恵子

2) 認知症の人の理解

日時：10月27日(土)13:30～15:30

講師：新潟県立看護大学教授 北川公子

3) グループワーク：認知症の人を支える仕組み

日時：11月17日(土)13:30～15:30

講師：キャラバン・メイト連絡協議会

4) 認知症の基礎知識：症状、診断、治療

日時：12月1日(土)

講師：日本社会事業大学大学院教授 今井幸充

5) 地域の健康づくり— 介護予防の視点から—

日時：12月8日(土)

講師：福島県立医科大学教授 安村誠司

(運営担当：中島、北川)

< 専門公開講座 >

1. 看護英会話セミナー

概要：医療現場では、英語でコミュニケーションを行う機会が増えてきている。そのような現状に対応できるように、初級から中級程度の英語を聞く・話す力を身に付けるための講座をプログラムした。また、実際に外国人講師と会話を行う機会を設けた。

日時：9月27日(木)、9月28日(金)10:00～15:10

講師：新潟県立看護大学准教授 中村博生

新潟県立看護大学講師 山本淳子

外国人講師

(運営担当：中村，山本)

2. 看護情報処理セミナー

概要：初級から中級者を対象として，日常生活の中で利用する看護情報をより効果的に処理することを目的に習熟の程度に応じてプログラムした。

日時：9月27日(木)，9月28日(金)10:00～16:10

10月4日(木)，10月5日(金)10:00～16:10

講師：新潟県立看護大学准教授 橋本明浩

新潟県立看護大学助教 永吉雅人

(運営担当：橋本，永吉)

3. 新潟県看護職員臨地実習指導者養成講習会

日時：8月20日(月)～10月16日(火)10:00～16:00

概要：2か月間で新潟県下の病院・施設の臨床指導者育成を目的として平成15年より本学で企画・運営を行い，丸5年を迎えた。講義内容および開講時間数は教育に関する科目42時間，看護教育に関する科目42時間，実習指導に関する科目144時間，特別講義12時間の計240時間である。養成人数は本学の実習施設枠を含む51名である。講師は主に本学の教員が担当した。

1) 専門職への公開講座

(1) 看護実践能力の充実に向けて

日時：8月20日(月)13:30～15:30

講師：新潟県立看護大学学長 中島紀恵子

(2) 新潟県の看護行政の動向

日時：10月16日(火)13:30～15:30

講師：新潟県福祉保健部福祉保健課看護介護人材係 坪川トモ子

(運営担当：深澤)

<まとめ>

本学看護研究交流センターの生涯学習・研修支援事業の目的はまさしく「地域への貢献」である。平成14年の開学時に「地域とともに学ぶ大学」を目指してこのプログラムを開始し6年が経過した。今では新潟県内だけでなく県外からも御参加いただくようになった。今年度は19項目の講演や講座に延べ980名あまりの方々が聴講して下さった。

講座の企画・運営には，学長はじめ学内の教職員が力を注いできた。これからも地域の方々の御希望に沿った講座を企画していきたいと考えている。今後とも御支援を頂戴したい。

(文責：生涯学習・研修支援部会 深澤佳代子)